

指宿まるごと博物館

指宿文化遺産図鑑【第1巻】

～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～



平成26年度文化庁文化芸術振興補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)

目 次

C O N T E N T S

郷 土
芸 能

上野猿の子踊り（開聞上野区）	4
上野棒踊り（開聞上野区）	10
田中手拍子踊り（開聞仙田区）	16
谷村手拍子踊り（開聞仙田区）	22
下仙田棒踊り（開聞仙田区）	28
利永琉球傘踊り（山川利永区）	36
脇浦古琴節（開聞脇集落）	42
宮坂田踊り（東方宮）	48
玉利奴踊り（十町玉利）	54
さまふり（十二町高野原）	60

伝 統
行 事

トッノモツツイ（山川成川鰻区）	66
サンコンメ（山川浜児ヶ水区）	72
鬼火焚き（市内各地）	78

動画で見てみよう！

踊りや行事の様子を動画でご覧になれます。
[http://youkoso-ibusuki.com/marugoto/
 movielist/](http://youkoso-ibusuki.com/marugoto/movielist/)



指宿まるごと博物館
文化財マップ

有形
文化財

賴宗塚	84
九郎塚	84
山川方探所跡	84
河野覚兵衛家墓石群	84
旧正龍寺跡墓石群	85
瑞応院跡	85
瑞応院中興開山禪請の墓	85
能面	85
松梅蒔絵櫛筒附属品並びに	
目録共 一合	85
枚聞神社本殿	86
揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿	86
山川鰐節焚き納屋及び倉庫群	86
無足明神	87
天の岩屋供養塔群	87
揖宿神社の社叢	87
揖宿神社前田ノ神依代椋ノ木	87
鰐地蔵板碑	87
刻地蔵	88
正龍寺宝珠付角柱塔婆	88
成川十一面觀音像及び石殿	88
地頭仮屋跡石碑	88
島津齊彬公掘井碑新旧二基	88
宮ヶ浜港防波堤(捍海隄)	89
山川薬園跡及びリュウガン	89
石敢當	89



凡例

国指定文化財等	 史跡	 墓地
県指定文化財等	 城跡・館跡	 巨木・珍しい木
市指定文化財等	 伝統的建築物	 火山地形
一般文化財等	 田の神	 民俗芸能・伝統行事
	 仏像ほか	 碑牌・供養塔
	 庚申塔	 その他



ひと目見たときから

可愛らしい猿の踊りのとりこになる。



かつて、鍋島岳の山中に「塩手どん」という社が祀られ、多くの猿たちが仕え、人里離れた川尻の海岸に塩汲みに行くことが日課だった。

塩汲みの途中、村人たちが木に吊るしていた「ダゴ」の匂いに誘われて、猿が右往左往して仕方がない。

そこで、困った村人は、武士に猿たちを追っ払ってくれと頼んだ。武士は村人たちに「ダゴ」を分けてもらい、猿たちにいろいろと芸をさせ、褒美に「ダゴ」を振舞った。

猿たちは満面になり列をなして跳んでいった。

この様子を踊りにしたものが上野猿の子踊りである。



由来・
エピソード

※見どころ※

上野猿の子踊りの魅力は、なんと言っても猿たちの表情や動きの可愛らしさに尽きます。

サスケ(猿使い)の下知(命令)に合わせて、面白おかしく飛び跳ねたり、芸をしたりする姿はとてもかわいらしいです。

本物の子猿の動きをまねるしぐさにも注目してください!



「上野猿の子踊り」では、笛、太鼓、鉦の音色に合わせて猿たちが踊る。

猿は「ヨモ猿」と呼ばれ、親猿、二才猿、子猿が年齢によって演じられている。

笛の音色に合わせて、ひとつの下知(命令)の終わりに猿が飛び跳ねることで節目をついている。

飛び跳ねるタイミングが合わないのも、可愛さのひとつである。

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

保存会
上野猿の子踊り



上野猿の子踊り保存会は、上野地区に住む子どもたちを中心で活動している。
少子化で上野地区の子どもたちが少なくなっているが、お父さんやお母さんたちが上野出身の地区外の子どもたちも参加している。
踊り手は、全員男の子と決まっている。

ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



【サスケ(猿使い)】

- ① 鳥帽子
- ② 神 丸の十字がつけられている
- ③ 帯 條は、金色、銀色、黒色のきらびやかさが特徴
- ④ 扇子



猿の衣装

【猿】

- ⑤ ぼうし 可愛い耳がついている
- ⑥ 猿の衣装 ぼうしと同じ赤色
※子猿は、ちゃんちゃんこを着る



親猿の顔には
口ひげがかか
ります。

親猿



本番と変わらず一生懸命な眼差しで練習しています。



うえ の ぼう おど 上野棒踊り

上野棒踊り保存会



※見どころ※

三尺棒、六尺棒を持って、素早く回転しながら激しく打ち合う姿には圧倒されます!

踊り手は、かけ声を「サッサー・サッサー イヤサ ハイエイハイエイ」と言い、「エイ」のかけ声で棒を打ち合います。

一糸乱れぬ勇姿を楽しんでください。



この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。島津忠良公（日新公）が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものと言われている。

唄の一部の「おしろは山で前は大川」は吉田城を讃えたものと言われている。

ひいがわ



上野棒踊りの唄い手は、松山喜作さん
(撮影当時85歳)。

棒踊りの歌詞の数ある中から、演奏時間に合わせて唄う。



踊り手の様子を見ながら、13~14文字の歌詞を、きっちり50秒の長い唄にして唄い上げる。

唄い手
松山喜作さん

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

上野棒踊り保存会



上野棒踊り保存会には、上野地区在住の青壮年部の男性を中心に構成されている。毎年、9月の開聞郷土芸能祭、上野地区敬老会に向けて8月頃から練習が行われている。上野地区営農研修館には、昭和27年3月に行われた敬老会の出演者の写真が飾られていることから、上野地区の人たちが世代を越えて守り伝えてきた芸能であることがわかる。

ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



1 たすき

赤、青、黄の色あざやかなたすきで着物の袖を上げて、背中で真結びする

着物の色と反対に、色鮮やかさが映える

2 着物

赤色の縁取りのあるかすりの着物

3 前かけ

丸に十の字が刺繡されている

4 股引

丸に十の字が刺繡されている

5 脚絆

袖あてと同じ青色が映える

6 わらじ

靴下を履いてからわらじを履く

7 太鼓

バチは2本

8 証

踊りの隊形が変化する時に鳴らして合図する

9 棒

六尺棒と三尺棒、なぎなたと鎌の組合せがある



10 鉢巻

鉢巻には、金色の丸に十の字が付いている



●
ステップ
4

さあ、いよいよ本番！
激しい立ち振る舞いをご覧下さい

棒踊りは、3人で一列を作り四列綱隊で登場。6人1組が基本単位で踊る。

唄に合わせた2種類の踊りがあり、基本形の縁り返しどとっている。2種類の踊りを1・2曲、3・4曲と2回ずつ踊る。

その 1



①	④	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端は三尺棒を、真中の者は六尺棒を持つ。



1	×4	7	×10
2	×5	8	×11
3	×6	9	×12

列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。
顔正面、膝下の順で棒を打ち合う。
両端が真ん中の棒に打ち合う。
列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端が真ん中の棒に打ち合う。
列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。

A



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端の間に棒を入れ替わる。両端は床に棒をつけ振りかぶる。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端が片膝をつけ、棒を頭上に掲げ両端の棒を受ける。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端の間で両端で棒を打ち合い、真中は床に棒をつく。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

真中の正面の棒を合わせながら床を打つ。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。
奇数列が振り下ろした棒を偶数列が、頭の棒で受けた。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

偶数列が振り下ろした棒を奇数列が、頭の棒で受けた。
列の前後同士、膝下で棒を打ち合い、Aを繰り返す。

B



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

3人ひと組で床上で2度棒を打ち合う。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

3人ひと組で床上で2度棒を打ち合う。

B



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

3人ひと組で床上で2度棒を打ち合う。



1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

両端がナタの柄で床を突き、列の前後同士、頭上で棒を3回打ち合う。

その柄を真中の膝の柄で左、右の頭で打つ。

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12

1	4	7	10
2	5	8	11
3	6	9	12



たなかて ひょうし おど 田中手拍子踊り

田中手拍子踊り保存会



元々は、男性のみの踊り。

それを地域の女性が引き継ぎ、今に守り伝えてきた!



田中手拍子踊りがいつごろから始まったかは定かではない。かつては男性のみで踊られていたが、現在は婦人会を中心に継承されている。

踊りは、明治時代に盛んに行われていた伊勢神宮への参拝をした人々が、淡路島の手拍子踊りを見習い故郷に伝えたものとも言われている。

※見どころ※

「手拍子踊り」だが、手拍子の動きは一度もなく、手の動きで曲に唄われている情景を表現しています。曲の内容に合わせた手の動きに注目してください。



田中集落の田中慶子さん(撮影当時66歳)によると、田中手拍子踊りは、元々男性の踊りだったものを女性が引き継いできた郷土芸能であるという。

「小学生の頃、自分の父親と同じ年齢の男性から教わったため、足の運びが男性のようになっている。学校から帰って来てから公民館で教わり、学校の行事でも踊っていた。男性の師匠から教わったのは、私が最後かも」とのことである。



元保存会会員
田中慶子さん

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1 踊り手は？

田中手拍子踊り
保存会



田中手拍子踊り保存会では、田中集落の女性を中心に、手拍子踊りを守り伝えてきている。

かつては歌詞を覚え、歌詞に合わせて踊りを覚えていたが、現在は、「1・2・3」とテンボに合わせて覚えている。保存会の話では、踊りが難しかったり、テンボが取りにくいため、先輩達の踊りの型と現在とは少し異なっているとのこと。

今回の記録で昔からの型を見直すきっかけになったそうだ。



ステップ
3 練習風景を見てみよう



ステップ
2 必要な道具や衣装は？



先輩に合わせて、踊りの型を確認します

さあ、いよいよ本番！
一緒に楽しみましょう！

ステップ
4



両三列総隊で並び、お互いに前の演者と重ならないように立つ。

阿波の徳島

田中手拍子踊りは、「阿波の徳島」、「まいろうえ」、「三邦丸」の3つの曲に合わせて踊られる。
曲と曲の間は、太鼓の音色で繋ぎ、たたくりズムで演者に曲の始まりを伝える。
3曲目の「三邦丸」では、ピンク色の飾りのついたカチカチを使って踊る。

一、阿波の徳島の十郎兵衛
娘などはおつるばこ
二、おつるいくつかど その年
三、かんずれば十七
八、おつるくるかよと おたんぼの
四、おつる来はせずに 蟻の虫
などが飛んでまるわ
ラシャのタバコ入れ
キセルなども ちょいとさげたの



①両手を左下→右下→左上→左下の順で左右に払う。

②両手を頭上から左右に広げ、閉じてから膝上まで下ろす。



④両手を頭上で動かしながら体を正面に向き直す。

⑤両手を頭上で左右に2回広げ、その後閉じてから膝上まで下ろす。これを3回繰り返す。

まいろうえ



両手の動きと片足を上げる所作から、旅路を歩く姿を彷彿とさせる。
やや足を開いて歩く姿は、かつて、男性の踊りであったことを垣間見せる。

三邦丸



両手を下から上へと動かしながら、カチカチを鳴らしていく。リズミカルな踊りが楽しめる。

三邦丸

一、沖の黒いのは ゴヘダのヨオ煙りヨオ
あれは薩摩藩の みくに丸よ
サノヨー ヨーイヨー
二、沖のどなかに 茶屋町ヨオ建てヨオ
のぼり下の船をしまつよ
サノヨー ヨーイヨー
三、とりと通わぬ 玄夷ヨオ
舟はやくこぎ渡すよ
サノヨー ヨーイヨー
四、船三隻出た どいがどいかよヨオ
しれぬヨオ 中の三人乗りりが
みくに丸よ
サノヨー ヨーイヨー

一、まいろうえ 花のなよせに
さあまいろう 花は
某種の花に 鬼あざみ
しゃくばんに かきばた
あやめに ゆりの花
ききょうかるかや
中にはやせぬ 色の花がない
まいろうえ 橋のなよせに
さあまいろう 橋は 新橋に
西田橋 高麗橋に 武の橋
江戸橋 新橋に 芝居屋戻りの
かけそないたる 太鼓橋かいいな

まいろうえ

まいろうえ

花のなよせに
さあまいろう 花は
某種の花に 鬼あざみ
しゃくばんに かきばた
あやめに ゆりの花
ききょうかるかや
中にはやせぬ 色の花がない
まいろうえ 橋のなよせに
さあまいろう 橋は 新橋に
西田橋 高麗橋に 武の橋
江戸橋 新橋に 芝居屋戻りの
かけそないたる 太鼓橋かいいな

どこに行けば見られるの？

ステップ
5

練習：田中公民館で、郷土芸能祭に向けた練習が8月下旬から行われる

本番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館(9月)



田中手拍子踊り

田中手拍子踊り



たに むら て びょう し おど 谷村手拍子踊り

谷村手拍子踊り保存会



一生懸命踊る踊り手の姿が愛おしい。



※見どころ※

踊りの先生の指導を受けながら、子ども達が一生懸命練習して振り付けを覚えた踊りです。掛け声と四竹を鳴らす踊り手の一糸乱れない踊りを堪能ください。



谷村手拍子踊りは、開聞仙田地区に伝わる手拍子踊りのひとつ。

明治時代に盛んであった伊勢神宮の参拝の人達が淡路島の手拍子踊りを見習い、それを故郷に伝えている。

薩摩藩主島津齊彬公が、幕末に英国から購入した「三邦丸」の唄に合わせて踊られており、同じ地区の田中手拍子踊りと共通している。



谷村手拍子踊りの練習が行われる谷村公民館には、過去に踊った写真が多く飾られている。それらには、「谷村手べし踊り」と書かれている。

「手べし」とは「手拍子」がなまった方言。地域に親しまれ、守り伝えられてきた踊りである。



谷村手べし踊り

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

谷村手拍子踊り
保存会



谷村手拍子踊り保存会では、谷村集落の子ども達を中心に活動している。

一時期に比べ、子ども達が減ってきたが、地域の敬老会や開闢地域文化祭に向けて谷村公民館で練習を一生懸命繰り返し行っている。

ステップ
3 練習風景を見てみよう



ステップ
2 必要な道具や衣装は？



【女の子用】

- 1 つの
2 緋の着物
- 3 帯
女子は裏地が黄色の赤色の帯。男子は黒色と藍色の帯
- 4 手甲
- 5 カチカチ
赤色の飾りがついている竹製の道具
- 6 たすき
背中で大きなちゅうちょ結びをし、長く垂らします
- 7 前かけ
手甲と同じ青色で女子と男子では垂らす長さが異なる



【男の子用】

- 8 かざり
女子の子だけが左腰で結ぶ
- 9 腰巻
- 10 短パン
男の子だけがはく
- 11 白足袋



踊りの先生に合わせて、振り付けを覚えていく。

郷土芸能

谷村手拍子踊り

谷村手拍子踊りの唄

三邦丸

(ハイ一ヒヨ)

一、沖の東いのは「へだだけむりサイ
あれり船サイサイ

二、鳥もかよわぬ「玄海灘をサイ
舟はやさしや コラサノサイ

三、「ぎわいだすサイサイ
たまくるながをサイ

四、「さーなづく茶屋町」立ててサイ
のぼり下りの フラサノサイ

五、「さーおかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

六、「石かげんおくらん 水戸サーナしけかげんか
シヤーアイヨ 潮が早がでサーかけられぬ

七、「イロシヤアレンジヤアーアイヨ
(サイヨ)のゴーゴ サッサフ

八、「(ハイ一ヒヨ) サー一石とは見るな
シヤーアイヨ 石ジヤーニズらぬサーオ神様

九、「イロシヤアレンジヤアーアイヨ
(サイヨ)のゴーゴ サッサフ

十、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

十一、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

十二、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

十三、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

十四、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ

十五、「(ハイ一ヒヨ) サー(おかのがまねぐ
シヤーアイヨ わかのまねぐなサー寄やならぬ



三邦丸

三邦丸は、両手に四竹を持って踊られる。



- ①両腕を左下へ振り、右下へ振りながら正面から下手へ向く。
- ②両手を頭の前ほど高さに上げ、左右に振ったり下から上へ回したりしながら、下手→上手→下手へ向く。
- ③両手を左右に振りながら後ろへ下がる。
- ④二歩前へ歩き、右足を左足の後ろから前へ出す。これを頭に合わせながら繰り返す。



鹿籠の立神

鹿籠の立神は、道具を持たずに踊られる。時折、手拍子が打たれる。



- ①両手を左右に振る。
- ②右手を上に上げながら、左手は下に下げながら手のひらを返す。
その時左足は前へ出しかかると床をつく、次にその対反をする。
- ③左右体を動かしながら、両手でふとももをたたき、その後手をたたく。
- ④何か物を持ち草鞋をしつづ左下へ払う。
- ⑤両手のひらを見せながら、膝へ2回下ろす。
- ⑥両手を左右へ払いながら、2歩下がる。
- ⑦前へ進みながら軽く飛び上がる。
- ⑧片手ずつ前方へ突き出す。
- ⑨右下へ払いながら時計周りに一回転する。
- ⑩両手をふとももへ下ろす。これを歌に合わせて繰り返す。



どこに行けば見られるの？

- 練習：谷村公民館で、敬老会などに向けた練習が行われる
- 本番：敬老会／谷村公民館(9月)
開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館(9月)
開聞地域文化祭／開聞総合体育館(11月)



郷土芸能

谷村手拍子踊りの唄

鹿籠の立神

谷村手拍子踊りの唄



下仙田棒踊り

下仙田棒踊り保存会



激しさ中にも優雅さが感じられる!



※見どころ※

三尺棒と六尺棒を使い、隣同士や前後同士で素早く回転しながら激しく打ち合います。
袴の着物に赤地の着物柄のたすぎが映え、激しい動きの中でも際立っています。

息のあった立ち回りをご覧ください。



この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。
島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を傭うために踊らせたものと言われている。
頭の1番は「おしろは山で前は大川」は、吉田城を譲えたものと言われている。



平成20年に、20年ぶりに復活した「下仙田棒踊り」。

当時の荒田集落長の上拂幸弘さんの呼びかけで保存会が復活。
衣装や木刀は公民館にあったが、経験者が少なかったため、ビデオを見ながら確認して復活したこと。

復活に向けた活動は、地域活性化にも一役買っていると、新聞に掲載された。



歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

下仙田棒踊り保存会



下仙田地区は、荒田と西元の2つの集落からなる。

下仙田棒踊り保存会は、平成20年に保存会の復活をした下仙田地区在住の男性を中心的に活動している。

ステップ
3 練習風景を見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



下仙田棒踊りの唄

一、おしろは山で 前は大川
二、山だの木は木を引き出す
三、清めの雨は 三度ばらつく
四、縄柄が折れた 三把選れた
五、樵野のキジは 囲の壁に住む
六、嫁じよが通る 寄せんなどさむ
七、外の句もある。
八、次の句もある。

1 兜
丸の十の字が付 派手さがない藍色で、たすきが一段と映える

2 はちまき
兜を額に止め、背中に長く垂らす

3 たすき
赤地の着物柄、青色・黄色の三色

4 肩かけ
黒色の足袋で紐は白色

九、外の句もある。
十、次の句もある。



ステップ
4

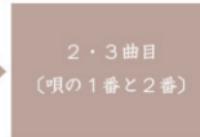
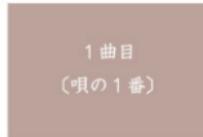
さあ、いよいよ本番！
激しい立ち振る舞いをご覧下さい

棒踊りは、2人で一列を作り四列継隊で登場。

2~4曲目までは4人1組で、2組8人で踊られる。

5~6曲目は、6人で踊られ、内2人は六尺棒を持って踊る。

踊りは、いずれも基本形の繰り返しとなっている。



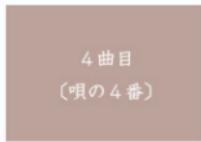
1曲目は左手を腰に置き、棒を持つ右手は上下に振り、右足は右手に合わせて床を踏み鳴らす。

Aを3回繰り返し、頭上、膝下、
隣同士入れ替えをしておわる。

下手を向き、腰を落としながら
膝を回す。

膝下、頭上・膝下で棒を打ち合う。

A



前後の隣同士、頭上で打ち合い回転し、さらに膝下で打ち合う。

隣同士が入れ替わり、頭上・膝下で
打ち合う。

Bを3回繰り返し、頭上、膝下、
前後同士入れ替えておわる。

前の前後同士、膝下で打ち合い、奇数列が振り下ろした棒を偶数列が頭上で受け止める。その後、偶数列が振り下ろした棒を奇数列が頭上で受け止め、膝下で打ち合う。



正面を向き膝を回した後、前から後ろを向き、前後の隣同士で膝下・頭上・膝下の順で棒を打ち合う。

頭上で棒を打ち合う。

膝下で打ち合う。

前後同士が入れ替わり、頭上・膝下で
打ち合う。

前の前後同士、膝下で打ち合い、奇数列が振り下ろした棒を偶数列が頭上で受け止める。その後、偶数列が振り下ろした棒を奇数列が頭上で受け止め、膝下で打ち合う。

5・6曲目
(唄の1番・6番)

6人で、Cの基本形を2回繰り返し踊られる。



ステップ
5 どこに行けば見られるの？

練習：各本番に向けて下仙田地区営農研修センターで実施

- 本番：開聞郷土芸能祭
 - ／開聞総合体育館（9月）
 - 下仙田地区敬老会
 - ／下仙田地区営農研修センター（9月）
 - 開聞地域文化祭
 - ／開聞総合体育館（11月）





市指定文化財
利永琉球傘踊り
利永琉球傘踊り保存会



※見どころ※

利永琉球傘踊りは、とても優雅で気品のある踊りです。

見ている者は、思わず踊りを見入ってしまいます。

また、踊りの形は特徴的で、笛を吹く子ども達の踊りにはかわいらしさも感じられます。

江戸時代からの悠久な歴史を感じてください。

**由来
エピソード**

江戸時代、琉球使節団が、枚聞神社に航海の無事のお札をするため、道すがら踊られた踊りをまねて創られたと言われています。



**踊り手は、並ぶ列によっ
て、傘と扇子、扇子、太鼓、
鉦、笛と持つ道具や楽器が
異なる。**

先頭となる赤い傘を持つ踊り手になるためには、年齢もあるが身長の高さが優先されること。

入場する姿を見ると、先頭から見事に身長の高さで並んでいる。

傘と扇子を持つ役は、先頭で目立つことから、踊り手中ではあこがれの役どころとして、一目おかれた存在であるようだ。



歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1 踊り手は？

利永琉球傘踊り
保存会



利永琉球傘踊りは、江戸時代から伝わる郷土芸能である。

戦時中と戦後の混乱期に一時途絶えていたが、昭和52年(1977)に利永小学校創立100周年を機会に、約30年ぶりに地元の青年団を中心に復活した。

かつては、大人が中心に踊られていたが、PTAから小学6年生だけでも良いから踊らせてほしいとの要望があった。

それがきっかけとなって、現在では、利永小学校3年生から6年生と、利永小学校を卒業した山川中学校の生徒を中心に踊られている。

ステップ
3 練習風景を見てみよう



ステップ
2 必要な道具や衣装は？

衣装を着た踊り手



踊り手の衣装

【衣装】

- ① 着物
- ② 手甲
- ③ 前掛け
- ④ 鉢巻き
- ⑤ 帯
- 赤色と黄色の帯を一緒にする
- ⑥ 脚絆
- ⑦ ワラジ

【道具】

- 赤・青・黄の飾りがつく
- ⑧ 傘
- ⑨ 扇子
- ⑩ 太鼓
- ⑪ 征
- ⑫ 笛

踊り手の道具



唄い手と囃子手の衣装



世代を超えて、踊りが伝えられています。

郷土芸能

利永琉球傘踊り

39



脇浦古琴節

脇浦古琴節保存会



昭和57年度の第22回鹿児島県
民俗芸能発表大会での写真

※見どころ※

踊り手は、ととさま、かかさま、子ども、箱持ち、槍持ち、笠持ちのそれぞれの役に扮します。

ととさま：最初の口上をするところ。

笠持ち：笠を突きだすポーズがかっこいい。

槍持ち：槍を突きだすポーズがかっこいい。

これらの見どころを楽しんでください。



脇浦古琴節の由来は良く分からぬ
が、古来より脇浦に伝わる郷土芸能である。
当初は、女性のみで踊られていた。

歌詞の内容から、夫婦でお伊勢参りを

して、子供の病気（疱瘡）が治るのを祈願してい

ることが分かる。

鹿児島県内各地で踊られる「疱瘡踊り」の唄に似ているとのこと。



脇浦古琴節は、150年ほど途絶えていたが、
大正12年に開聞小学校落成式の際に当時の長
老や有志の方々によって復活した。

指導者（上村悦子さん・新村やすみさん）によ
ると、「人が欠けると上演できない。脇浦の子供たちで出来
るのはいつまで続くかと思うことがあるが、せっかく脇浦で引き
継がれてきたものだから、残していきたい。」とのこと。

指導者 上村悦子さん(右)
新村やすみさん(左)



歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

脇浦古琴節保存会



脇浦古琴節保存会は、平成26年度現在、男の子16名、女の子5名の合計21名の脇集落に住む子ども達を中心活動している。

元々、脇集落の大人の女性だけで踊っていたが、25～30年ほど前から子ども達を入れるようになった。

その後、女の子が足りなくなったので男の子も入れるようになった。

最近は、親が脇集落出身の子ども達も入れているが、女の子の人数が少なく、男の子が圧倒的に多くなった。

ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



ととさまの衣装



かかさまの衣装

子どもの衣装



笠持ちの衣装



箱持ちの衣装



槍持ちの衣装

- | | | |
|-------|--------|---------|
| ❶ 陣笠 | ❶ 頭巾 | ❶ 手甲 |
| ❷ 羽織 | ❷ 笠 | ❷ ワラぞうり |
| ❸ 褐 | ❸ はちまき | ❸ 槍 |
| ❹ ぞうり | ❹ 上着 | ❹ 箱 |
| ❺ 刀 | ❺ ズボン | |



踊りの先生の指導を受けて、振り付けを覚えていきます。

ステップ 4 さあ、いよいよ本番！ 一緒に楽しみましょう！



役柄別人数:ととさま1名、かかさま1名、子ども1名、植持ち2名、箱持ち4名、笠持ち12名



口上



①まず、ととさまによる口上から始まる。その後、矛にはさまれたゴザの上でととさま、かかさま、子どもの三人が正座して拝する。

②拝礼後、植持ち、箱持ちが踊る。
③笠持ちも隊列を変えて、笠を上手に持ちながら踊る。



(音の表)

やい、女房 「ご神様」に参るぞ
松に登りたやよ おーい 尾之上の松に
わらはしそそだなは おーい そら行ひいざあーい
かるいはそを おーい 夫婦はなないかー
やいの万人の おーい 子供になるもの
わががやるほどには はまねすわいのー
松に登りたやよ おーい 尾之上の松に
わらはしそそだなは おーい そら行ひいざあーい
かるいはそを おーい 夫婦はなないかー
やいの女房 「ご神様」おいかげ
けつこうなお宮でござんすの
アーハー それいちだんよううぶる
どくとくは おーい
どくとくは おーい
かかさまは おーい
かかさまは おーい
どくとくは おーい
どくとくは おーい
かかさまは おーい
かかさまは おーい
(音の表)



- 一、しんばしょ コノヤーーーーー
しんばしょ こえで (コノ)
苦勞はだれゆえーそぞさまアー (コノ)
マーア ゆえ (コノ)
(コノナ) コノナ)
- 二、おみさきの コノヤーーーーー
おみさきの おそてつ (コノ)
(オサキワ) オサキワ
花はささき (オサキワ)
お葉のみ (コノ) ニビ
(コノナ) コノナ)
- 三、いせのじを コノヤーーーーー
いせのじを ふめば (コノ)
(オカサカ) アカサカ
おいさやさしーや ちょあんまでも
(コノナ) コノナ)
- 四、お寺の コノヤーーーーー
お寺の お茶せんか (コノ)
(オトマヤ) オトマヤ
おにに ふられて あわれ (コノ) たつ
(コノナ) コノナ)
- 五、この町にや コノヤーーーーー
この町にや 二人 (コノ)
(ドウデモ) ドウデモ
どれが姉やら 妹やら
(コノナ) コノナ)

ステップ 5 どこに行けば見られるの？

練習：脇浦公民館で、協集落の運動会や敬老会などに向けた練習が行われる

本番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館(9月)
脇浦火の神祭り／脇浦農村公園(10月)
開聞地域文化祭／開聞総合体育館(11月)





みや さか た おど 宮坂田踊り

宮坂田踊り保存会



参勤交代の疲れを癒す武士の踊り!

男らしい大ぶりな踊りと上品な服装による優雅な芸能!



この踊りの由来について、保存会によると、島津氏のお殿様一行が参勤交代で江戸へ上るとき、道中で長旅の疲れを癒すために踊られたものとのこと。

宮坂田踊りは、戦前は、旧暦2月10日に行い、4年に1回、揖宿神社の浜下り（ハマデバイ）の時に宮ヶ浜だけで踊られていたが、戦後は春の彼岸の中日、揖宿神社のハマデバイの時に、宮ヶ浜が潟口の御旅所で踊られていた。



※見どころ※

両手に刀を持つ草鞋で踊られます。両刀をイメージしながら踊りを見ると、武士が敵の攻撃を優雅にかわしながら、敵を突いている姿が見えます。

両手の甲の返しは、敵の攻撃をかわしている姿。

わずか40秒ほどの単調な踊りの繰り返しだからこそ、基本が大事。



一般的に踊り手は、唄い手や演奏に合わせて踊るものであるが、宮坂田踊りでは、踊り手に合わせて唄が唄われ、太鼓がたたかれる。

たとえば正面を向くタイミングを合図する錚も、踊り手が二列縦隊に並び、5番の歌詞の唄い初めになるように調整している。

踊り手、唄い手、太鼓・錚の演奏者が一体とならなければならない踊り。



元保存会長・宮公民館長
新宮領實さん

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

宮坂田踊り保存会



宮坂田踊り保存会では、宮地区在住者を中心に男性19人が、守り伝えている。

「宮地区的世代間交流やコミュニティを維持していくために、宮坂田踊りは絶対にないといけない」と会長は語る。

現在、若い会員を地区外にも求め、後継者育成に努めている。

ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



① 太鼓
唄を歌う間、ずっと打って拍子を取る

② 箏
踊り始めと、隊形が円陣から二列に変わる時、踊りが終る前、正面に向かって横隊になる時に鳴らして合図をする

③ 菖蒲

もちろん「丸に十の字」の島津家紋

④ 耕と紋付

羽織にはシワはつけずに大切に保管されている

⑤ 捺

腰下と並行になるように身につける

⑥ 白定袋

いつも白く清潔にされている

⑦ わらじ

長旅の参勤交代にも履いていたわらじ

⑧ 刀

脇差と長刀は必須道具
腰への差し方を間違えやすい
舞う時は、絶対に抜かない



唄の練習後、踊りの練習が繰り返される。

ステップ 4

さあ、いよいよ本番！
一緒に楽しみましょう！



①のれんを潜り、一人ずつ登場。

②一列で踊りながら円陣を組む。

③円陣を組みながら踊る。

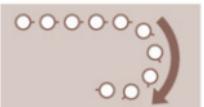
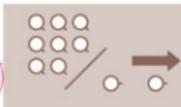
④二列に陣形を変えて踊る。

⑤正面を向いて踊りが終了。

踊りの型



手の甲を外側から
内側へ返すことで
敵の刀を払う



両手に刀を持ち、
右手→両手、左手→両手、右手→両手
と上げながら胸を張って歩く。

腰を落しながら横を向き、
左手は上にかかけ手首をかえす。
右手は背中に回す。

右手で敵を突く。



すかさず、反対の敵を突く。
刀の柄を持ちながら回転。

回転した勢いで、
右後ろにいる敵を払う。

これを繰り返して
踊る。

『星は、十七十七五郎の近所の小畠死んでる』
『坂田』や『浜浜坂』、『おまよ』、『じゆせき』は、相宿に
関係あるのではなく、江戸時代の盗賊の頭である。
『おまよ』が特徴的なため、歌いわざとして書かれた歌詞
も残されている。
『星は、諱名が書かれてるのよ』
『星は、諱名が書かれてるのよ』
『星は、諱名が書かれてるのよ』

52

宮坂田踊りの唄

一、坂田出る時のア (サササ) 波打(なみあた)出たが
今じや坂田 (フー) の風もいやトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ) の風もいやトナ
坂田の今じや 坂田 (フー) の風もいやトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)

二、遠州浜松 (サササ) 庄屋が娘
黄金ださき (フー) 痛はるのトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ) で娘はかるトナ
坂田の大名は (サササ) で娘はかるトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)

三、諸国大名は (サササ) 号笑で殺す
茶屋のおまよ (フー) は自殺すトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ) は自殺すトナ
おまよは 茶屋のおまよ (フー) は自殺すトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)

四、さてでもその後 (サササ) は自殺すトナ
村の出機 (フー) よりもまたそみたトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)
思ひは、どらの想い (フー) は富士の山トナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)

五、そみたそみた (サササ) 待機よ
村の出機 (フー) よりもまたそみたトナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)
思ひは、どらの想い (フー) は富士の山トナ
(サササ) ヨイ サササ (サササ)

ステップ 5 どこに行けば見られるの？

- 練習：毎月1回、揖宿神社境内の掃除後に、
宮公民館で行っている
- 本番：六月灯／揖宿神社（7月）
宮地区敬老会／宮公民館（9月）
柳田校区芸能祭／柳田小学校





たま り やっこ おど 玉利奴踊り

玉利奴踊り保存会

全国どの地域の奴踊りとも異なる
独特な踊りと軽快な動きに魅了される



※見どころ※

玉利奴踊りは、独特な振り付けと、片足で飛び跳ねる軽快で激しい動きに、驚かせられます。

また、片手で股間を持つ姿は、奴踊りならではの愉快さも表されています。

踊りの構成は一定の所作の繰り返しだが、一糸乱れず、きびきびと鋭く動く踊りに魅了させられます。



由来・
エピソード

由来は良く分かっていない
い。歌詞の内容から、江戸時代初・中期頃に成立したものとも言われています。

保存会によると、「戦後に350年と言っていたから、今は400年ぐらいになるんじゃないかなあ」とのこと。

結婚式や棟上げなどのお祝いの時に奉納されていたことから、縁起の良い踊りとされている。



踊り手は、顔にベンガラと墨で化粧をする。保存会によると、化粧をする理由は、豊臣秀吉による出兵の際、妻子達が別れを惜しんで、追っかけて泣いてすがるのを、誰が誰だか分からなくなるためとの説があるとのことである。

鬼面と同じ化粧をした奴たちを見るのも楽しみのひとつである。

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

玉利奴踊り保存会



玉利奴踊り保存会は、玉利地区の防犯組合を中心に構成されている。

数年間、活動が途絶えたが、平成23年に保存会を結成して復活した。

現在、保存会は、地域の絆として玉利奴踊りを次の世代へと継承していく活動を行っている。



ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



踊り手の衣装と道具



ツンコ→



本番と変わらず一生懸命な眼差しで練習している。



ステップ 4

さあ、いよいよ本番！
一緒に楽しみましょう！

本番当日。玉利奴踊りの準備は朝早くから行われる。化粧を乾かすのに時間がかかるためだ。

準備が整ったら、地区の神社で本番前の奉納踊り。本番前に疲れてしまいそうだ(「△」)。



玉利公民館で、踊り手の顔の化粧を仰向けに塗って行う。



鬼の面と同じように化粧されれる。まるで、面をつけていよう。



化粧が乾いたら、衣装に着替え、お互いインソコをつけ合う。



本番前に、玉利地区にある煙草神社へ、のぼりを先頭に列を作り歩いていく。



本番前に必ず煙草神社の前で奉納するのがしきたり。

前唄



「腰を落として、右斜め上から刀の先を見つめて構える



2踊り手回しながら踊り始める。
体をひひの正面を向き、右足を上げ、左足で飛び上がる。足を入れ替えて体を180度回転しながら飛び上がる。
これを3回半くかえし、上手を向き2回踏みをする。



①前列は180度回転し腰を向き、後列はそのままで②と同じ踊りで飛び上がる。1回半線の返す。



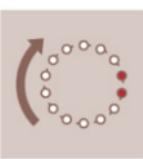
④前列は下手、後列は上手を向いて足踏みし、刀の柄を前方上に突き出し、刀の先を見つける。



②前列は180度回転し腰を向き、後列はそのまま③と同じ踊りで飛び上がる。1回半線の返す。

前がサーサー若い時や腕に生傷絶えたら五つ六つはつか今も絶えなんだ

本唄



①隊形を円形に変えながら、左足で1回飛び上がりながら、前へ大きく進む



③左足をつきながら、刀の先を下に向け、右手で切り込む。



⑤左足を円陣の中心へ一步出し、左足は膝を曲げながら刀の先を上へ勢いよく突き出す。
右のこぶしはやや緩めて輪を作ら。



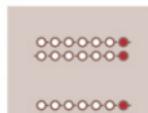
本唄角は持たずに、油積ますに便そえた。



⑥上体を右側にひねりながら、こぶしを額の前にすばやく動かす。



⑦踊り手1人の「アト」の掛け声を合図に、円形から二列へ隊列を替える。



⑨鬼面を被った1人の「モドック」の掛け声を合図に、前列が下手から上手へ180度回転し、列を整える。



⑩左のこぶしを腰に寄せる。ヤードココイドッコイ道端ノくいから



三、千女鬼はヤードココイドッコイ道端ノくいから通るニセンを引き寄せる。ヤレ



二、今の二才衆はヤードココイドッコイ牛の子育ら

一、肥前船にもヤードココイドッコイツンコ一船うておれば



四、井は白銀ヤードココイドッコイ金を俵に計り込む。

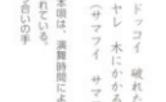


五、今時のオゴジョンシヤヤードココイドッコイ肩をさすればヤニが出来るヤレ

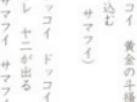


ヤードココイドッコイ黄金の牛様く

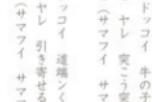
角は持たずに、油積ますに便そえた。



六、木にかかるヤレ木にかかるヤマフイ



七、肩にやかからぬ肩にやかからぬヤマフイ



八、木にかかるヤマフイ

九、木にかかるヤマフイ

ステップ 5

どこに行けば見られるの？

練習：玉利公民館で、六月灯や敬老会などに向けた練習が行われる

本番：六月灯／玉利公民館(7月)

玉利地区敬老会／玉利公民館(9月)
柳田校区芸能祭／柳田小学校





さまふり

高野原さまふり保存会



地元の熱意で三度復活。
伝えてきた!



由来・
エピソード

高野原地区のさまふりは、参勤交代の下りの唄で、道中の情景を唄ったものだ
と言われている。

高野原の先輩たちが、江戸時代の中期、流行小唄の中からより良い唄と踊りを
選び、さまふりがつくれられた。

踊りは、単調であるが、上品で優雅。

唄はゆっくりと朗々としていて、懐かしさを感じる。



《見どころ》

さまふりが踊られる前に、お殿様から踊りを見せて欲しいという話を伝える様子の寸劇が行われます。また、子どもが演じるお殿様を乗せた駕籠も登場します。

参勤交代の疲れを癒す様子が目に浮かぶ優雅な踊りを楽しんでください。



「さまふり」は、歌詞の4番
で唄われる「さまふり」になら
んだものである。

4番の歌詞によると、「さま
ふり」は、登場する人物のイキなサマ、いわ
ゆるヨカニセに由来する。

保存会員

今柳田浩一さん

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ
1

踊り手は？

高野原
さまふり
保存会



高野原地区の男性を中心に、「高野原さまふり保存会」が結成されている。

さまふりは、3度の復活の歴史がある。1度目は、日清・日露の両戦勝祝に踊って以来、長く途絶えていたのを昭和2年の御大典の際に復活。

2度目は、昭和45年に復活し、高野原地区の小学5年生以上の児童が練習をしていた。

3度目は、平成8年に復活。現在、地区住民の有志によって、守り伝えられている。

ステップ
3

練習風景を
見てみよう



ステップ
2

必要な道具や衣装は？



のれんとのぼり旗
(上:現在のもの 下:昔のもの)

家臣役の衣装と道具

1 羽織

2 棍 大人の家臣役は、上下とも黒色の羽織と棒

お殿様役は棒だけがねずみ色

3 帯 黒地に白色のしま模様が入る
家臣役の帯は黒一色



お殿様役の衣装



家臣役の衣装



お殿様役の衣装



唄に合わせて、踊りの振り付けを確認。

郷土芸能

さまふり

ステップ
4

さあ、いよいよ本番！
一緒に楽しみましょう！



基本の踊り

- ①両手は卵を持つように軽くにきる。
②右腕を後方に伸ばしながら、右足を後ろへはねる。その後、素早く①の形へ戻る。次に、左腕・左足で同じ動きをし、歌に合わせて繰り返す。



さまふりは、寸劇とお殿様を乗せた駕籠が運ばれてから始まる。

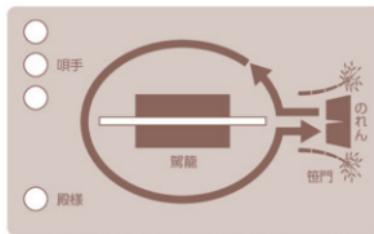
お殿様は、参勤交代の疲れを癒す流暢な家臣たちの踊りを見て、一緒に踊り始める。
踊りは単調だが、上品で優雅な踊りである。



- ③唄に合わせて、円陣の中央にある籠の方に向かって足を広げて立つ。右腕を左下へ刀を持っているかのように2回振り下ろす。



- 立ち止まり、両腕を頭の上に上げ、手のひらを見せながら、「ハラハラ」の掛け声に合わせて前後にふる。その後①へ戻る。



さまふりの舞台配置と入場・退場時の踊り手の動線



お殿様からの命令で、踊りを始めることになる寸劇。



お殿様を乗せた駕籠が運ばれてくる。



次々と笛門から出てきた家臣たちが駕籠を囲むように踊る。



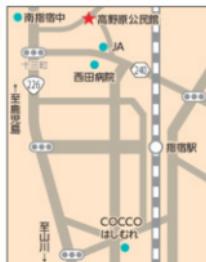
お殿様も踊りに参加し、楽しい時間が過ぎる。

ステップ
5

どこに行けば見られるの？

練習：高野原公民館で、六月灯などに向けた練習が7月上旬から行われる

本番：高野原地区六月灯／高野原公民館(7月)
柳田校区芸能祭／柳田小学校



四、さま「り」が「だ」 もののヨイヨイ

（ハラハラ）

一、鳥がな？ 安房のヨイヨイ 沖のヨイヨイ 埋し始めたのー
いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）

二、渡中になア 沖のヨイヨイ 沖の渡中にーのー

いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）

三、鳥がな？ 安房のヨイヨイ 安房の鳥がのー

いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）

四、さま「り」が「だ」 もののヨイヨイ
（ハラハラ）

（ハラハラ）

一、鳥がな？ 安房のヨイヨイ 沖のヨイヨイ 埋し始めたのー
いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）

二、渡中になア 沖のヨイヨイ 沖の渡中にーのー

いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）

三、鳥がな？ 安房のヨイヨイ 安房の鳥がのー

いしなもの（サッ エンエン サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を持つ
（ハラハラ）



トップモツツイ

トップモツツイ保存会



※見どころ※

鰐区へ続く旧道上に、綱が張られます。その綱には、手作りのわら人形とモチやヤツデが結ばれています。その綱に向かって、地区内から外へ石を投げます。不思議な伝行事をごらんください。



トップモツツイが始まった時代や由来は良く分からぬ。

『山川町誌』によると、トップモツツイの「トッ」とは、一年間の大事な折目で、祭事のトキ（時または蕩か）と記されている。トップモツツイでは、「〇〇出行け！」とか「風邪をひかないように！」と、願い事を言いながら石を投げていることから、悪疫よけの祈願が感じられる。



かつてトップモツツイは、成川区の各地域で盛んに行われていたが、現在では鰐区だけを受け継がれている。

元々子どもたちだけで行う行事だったようだ。年上が年下に指示をして、山にわらを刈りに行ったり、各家庭をまわり餅やお菓子などをもらいに行ったりして準備をしていたそうだ。

ちなみに、お菓子をもらう順番は、年上からだそうだ。



歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ
1

だれが守り伝えているの？



トツノモツトイは、鰐区在住と鰐区にゆかりのある人々が、守り伝えている。

平成26年現在、鰐区に住んでいる子ども達が少なくなっているため、鰐区長をはじめ多くの方々が参加し、トツノモツトイを盛り上げている。

ステップ
2

必要な道具は？



[ワラ]

ワラで綱と人形をつくる。
かつては、家々から麦や稻のワラをもらいう集め、服にワラがつかないように裸になった子どもたちが、水に浸したワラで綱を作った。

[ビニール紐]

かつては、ワラ紐だったのだろう。
時代が変われば材料も変わってくる。

ステップ
3

準備風景を見てみよう



[綱作り]

綱作りは、男性の仕事。
トツノモツトイ当日の朝、あらかじめ刈られていた稻わらが使われる。

集めてきたワラを選別する者、同じ長さのワラ束を作る者、そのワラ束を渡す者、ワラ束をねじりながら綱を織る者、縫り上がっていく綱を引っ張る者など、仕事を分担して、効率よく綱作りが進められている。



[ワラ人形づくり]

ワラ人形づくりは、女性の仕事。
トップモツツイ当日の朝、屋根のある駐車場にブルーシートを敷き、愉快な世間話を語りながら、楽しく作られている。



完成したワラ人形。
大きさに決まりはないらしい。



子どもたちは、おばあちゃんに教わりながら、世界にひとつしかないワラ人形を作っている。

かつては、ワラで牛や馬も作っていたようだ。



ワラ人形、ヤツデ、餅は、白いビニール紐で綱に結ばれる。

ステップ 4

いよいよ始まるよ～



完成した綱を、子どもたちが中心になって、鰐区の入口にあたる旧道まで担いで運ぶ。



地区の入口付近で、綱は焼酎で清められる。
地区の入口で、綱は旧道を横切るよう道端の杉の木に結ぶ。



綱と同様に焼酎で清められた石を綱に向かって投げる。綱の上を越えないといけないらしい。



トップモツツイが終わると、綱はしばらくそのままにされる。かつては、新しい綱を張る前に、一年前の古い綱を取り払っていたとのこと。

ステップ 5

どこに行けば見られるの？

○開催日：5月上旬

○場所：鰐区内広場・旧道鰐区入口



投げられた石が道路上に散らばっている。





市指定無形民俗文化財

サンコンメ

サンコンメ保存会



海にかかる若者たちが
一人前の男になるための通過儀礼



由来・エピソード

サンコンメは、いつの時代から始まったのか、その由来については定かではない。

保存会によると「サンコンメ」の名前の由来は、「三五舞、三坤舞、三合舞、三魂舞、三龍舞、散米舞」などと言われている。

サンコンメは、二セ入り（男子が数え年で15歳を迎えること）儀式のひとつであったという言い伝えもある。



見どころ

新春、1月7日の鬼火焚きの前行事で行われる「サンコンメ」。

15歳を迎えた少年たちが、「無病息災」と書かれた紙が貼られた孟宗竹を担ぎ、グルグル回りながら道路にほうり投げます。

ほうり投げて割れた竹の中からは硬貨が飛び散り、少年のまわりにいる多くの子どもたちが拾いにいきます。

おもてなしも見どころもたっぷりの珍行事です。



子供たちは、ヘグロをつけた締切り大根を持つ、誰かわす顔に塗ります。
今年は羊年。手作りの羊のスタンプも登場!



サンコンメは、県内でも有名な伝統行事。

当団には、多くの見学者が持参したカメラでシャッターチャンスを狙っている。

そして、うれしいことに、見学者にはキビナゴを混ぜたナマスとお酒が振舞われる。

また、浜兎ヶ水公民館では、料理教室や健康相談なども開催され、浜兎ヶ水地区で丸一日楽しめる。



手作りのナマス



竹のお猪口で振る舞われるお酒

歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ
1

だれが守り伝えているの？

サンコンメ保存会



最後に納骨堂前で抽選大会も…

サンコンメ保存会は、浜兎ヶ水区に住む人達を中心に活動している。サンコンメは、数年で15歳を迎えた少年たちが、主人公になる浜兎ヶ水区の一大イベント。

世代を超えて地区住民総出で、様々な関連行事も行いながら楽しく、守り伝えられている。

ステップ
2

必要な道具は？



① 藍色のハッピ

背中には、しゃれた「浜兎ヶ水」の染文字



② バッショ笠

頭にかぶる竹製の笠のこと
担ぐ竹と同様に「無病息災」、「家内安全」、「五穀豊穣」と書かれた半紙が貼り付けられている

③ 帯

紫色と白色で波打った模様が染められている

ステップ
3

準備風景を見てみよう

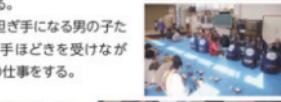
[竹づくり]

【竹】サンコンメで使われる竹は、太くて真っ直ぐな孟宗竹を選ぶ。竹の節には、小さな縦の穴を開けて硬貨を入れる。

硬貨は1年365日にちなみ、365円を単位に入れ、厄年の人と厄を払いたい家庭は竹にお金を入れる。

また、竹には「五穀豊穣」や「無病息災」、「家内安全」などの文字が書かれた半紙を貼り付ける。

硬貨を入れる穴→



ステップ
4

いよいよ始まるよ～



竹をまわすのは、①集落センター前の広場→②東の地蔵さんの前→③西の地蔵さん前→④辻角→最後に先祖の見守る⑤納骨堂前で舞踏めとなる。



西湖
浜尻ヶ水集落センター
野道
高尾
東道
浜尻ヶ水納骨堂



竹を肩で担ぎ、区内外の人々が見守る中、グルグルとまわり始める。

この様子を保存会では「グルグル舞」と呼んでいる。

ステップ
5

どこに行けば見られるの？

○開催日：1月7日

○場所：浜尻ヶ水区内



4-5回まわると、目がまわり、竹を道路にほうり投げる。
竹は少しずつ割れていき、中に入っている硬貨が飛び散る。



大役をはたして、ほっこーい



まわりにいた子供たちが、競って散らばった硬貨を拾う。
手の平一杯に硬貨を拾った子どももいる。

次のチャンスを待つ子供たち



おに び た 鬼火焚き

各公民館・子ども会



伝統ある厳粛な正月行事。

鬼を払うとともに、一年の家内安全を祈願する

鬼火焚きは、年中行事のひとつで、家内安全、無病無災を願って行われる。かつては1月7日の明け方を中心に行われていた。

鬼火焚きで焼け残った炭は、家に持ち帰り、玄関や床の間に飾ったり、その炭をいおりにくべで料理を作ったりしていた。また、鬼火で竹籠をいぶして牛馬に食べさせると、病気をしないともいわれていた。

真ん中の柱になる竹の先には、飾りをつける。かつて、道上地区や下吹越地区では、竹の先に大きな竹の弓矢をくくりつけていた。

由来・エピソード



※見どころ※

鬼火焚きは、炎の勢いで、竹が「パン!パン!」と大きな音を出して割れることで、鬼を追い払うとも言われています。

静寂と暗闇の中、竹が赤々と燃えていく様子が神秘的です。

炭となった竹や枝は、持ち帰り家の玄関などで飾ると良いそうです。



昭和29-30年に小野重朗氏と指宿高等学校の生徒たちによる鬼火焚きの調査が行われ、「薩南民俗」第4-5号に掲載された。

この段階では、市内の多くの地域で行われていたが、現在は宅地化による空き地の減少などによって、鬼火焚きを行う地域が減ってきてている。

鬼火焚きは、オンビタキ(宮)、ウネッソヒ(垂門)、オネッカ(小牧)、ウネッタツ(道上)、トンガ(吹越)、ウネッソヒ・ウネッタツ・オネッタキ(山川)、オネンノヒ(開間)と、各地区で呼ばれていた。



伝統行事

鬼火焚き

歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ
3

準備風景を見てみよう

ステップ
1

だれが守り伝えているの？

鬼火焚きは、各地域の公民館や子ども会が中心になって守り伝えられている。

地区や公民館と連携しながら、子供会の行事として位置づけられている。

【開聞】西開間、入野道地、入手・加治・下吉、

荒田、川尻東・松原、川尻中・鎮守、

川尻上・西・蛭子、川尻北

【山川】西岡児ヶ水、東岡児ヶ水、浜兎ヶ水

【宿指】垂門、久保、田之畑、木の根、温湯、

小牧、渡瀬、鳥山、永吉、細田、下門、

石嶺、池崎、堀切園、中浜、大迫



ステップ
2

必要な道具は？



【竹】

鬼火焚きの中心の柱となる竹。
各地域とも真っ直ぐに伸びている
太い孟宗竹が選ばれている。

【正月飾り】

年末から新年にかけて各家庭で飾られたしめ縄や門松などが、鬼火焚きを行う場所に集められる。その他に、薪や燃えやすい松の枝などが集められる。

多くの地域では、これらの正月飾りを集めるのは子ども達の役目となっている。

かつては、子ども達が前日から竹や薪などの材料を集め、泊まり込みをして準備をしていたとのことだ。



【餅・ぜんざい・お酒】

鬼火焚きの参加者や見学者に振舞われる。



山川 浜兎ヶ水区



池田 下門地区



東方 温湯地区

【鬼火焚きの準備】

浜兎ヶ水区の鬼火焚きは、伝統行事のサンコンメが終わってから近くの海岸で昼間に行われる。

地域によっては、夕暮れ時から行われる。鬼火焚きで燃やす竹や正月飾りのしめ縄などが良く燃えるよう、風通しを良くするために地面を「十文字」の形に掘る。

川尻区では、地面を掘らず井桁を組む。浜兎ヶ水区では、海岸の砂浜に穴を掘り、竹を固定する。

浜兎ヶ水区では、鬼火焚きの中心となる孟宗竹に、「謹賀新年」や「家内安全」、「火の用心」と墨で書いた半紙が付けられる。この紙には、火がつけられた後、子供たちが海岸に落ちている石を投げつける。

また、五円玉などのお金も紐で竹に吊るされ、竹が倒れた後に子ども達がさそって取り合う。

いよいよ始まるよ～

夕日が沈む午後6時頃。地域によっては、七草祝いの子ども達が無病息災を願って火をつける。

子ども達にとっては、火の怖さと神秘を学べると同時に、良い思い出のひとつになる。



1年間の家内安全や健康を祈りつつ、地区の人たちが準備した料理や焼き餅、お酒などを頂く。

この時は、子ども達も夜遅くまで鬼火焚きの火が落ちていく様子を見守る。



浜児ヶ水の鬼火焚き



①焼酎をかけて消める。



②消防団員が火をつける。



③子ども達は軽石を集めて、投げる準備をする。



④真中の柱の竹にも火が移り、火の勢いが増していく。



⑤子ども達は、紙をめがけて軽石を投げる。



⑥消防団員が倒れた竹をキャッチして、半時計回りに回る。



⑦子ども達が紙や竹についているお金を取りために群がる。



⑧「無病息災」の半紙をゲットした男子。家に大事に持つて帰るそうだ。



⑨竹にはお金が吊るされている。子ども達の目当てのひとつだ。



⑩柱の竹は、海へ流す。



⑪門松や木々は炭になるまで燃やされる。



⑫炭は、2本1組で持ち帰り、家の玄関や床の間に飾る。

戦

指宿市は、薩摩半島最南端の立地的な特徴や、火山地形を活かした土地利用から古来より、多くの戦の舞台となっていた。長い歴史の中での「戦」の一場面が目に浮かぶ。



頼宋塚
開聞十町2519-4 市指定



九郎塚
開聞十町2772 市指定



旧正龍寺跡墓石群
山川福元5780 市指定



瑞應院跡
開聞十町1406-1 市指定



瑞應院中興開山尊請の墓
開聞十町1359-3 市指定

山川方探所跡
指宿市山川成川 未指定



田良浜にあつた指宿海軍航空基地建設に伴い、昭和18年に設けられた電波送信所である。

昭和61年に出版された「山川電波測所 四拾年のあゆみ」と「旧耐弾送信室」と題されている。

横から見ると小さな丘のよう見えるが、上から見ると一辺約30mの四角形をしている。

第二次世界大戦の軍事施設を語る上で貴重な戦跡のひとつである。

供養

山川港の西側の土手には黄色い山川石がある。
加工しやすい山川石から多くの供養塔やお墓が作られている。
個性ある造形豊かな石造物が楽しめる。

河野覚兵衛家墓石群
山川福元5780 市指定



河野家は江戸時代、薩摩藩の貿易に一役買った山川の豪商。代々「覚兵衛」と名乗る家柄だった。奄美・琉球から舟で黒砂糖や交易品を大阪方面に運び、財をしたと伝えられる。河野家の墓は福元の墓地にあり、初めから7代までの歴代覚兵衛とその家族の12基が残っている。山川石による五輪塔群には、高さ2mを超えるものもあり、重厚感のある造りとなっている。

美術

市内の神社では、神楽舞の奉納や、身分の高い人から刀や装身具などの寄進が行われてきた。
時代を越え、大切に伝えられてきた美術品が堪能できる。

能面
東方733 未指定



佐賀絵輪相観音坐像及び白銀共一合
開聞十町1366 国指定



指宿神社には、能面や神戻など数多くの宝物が伝えられている。特に、室町時代中期の作とされている蔚面(男の老人の顔)、姫面(若い女性の顔)、狂言面の三面は、日本で能や狂言が完成されたころの貴重なものである。神社では「能」や「狂言」などの芸能を奉納する時に使われたと看えられる。

建造物

建造物には、建てられた時代の最先端技術や流行が反映されている。

また、神社やお寺の建造物に独自の建築様式があるように、本当に応じた建て方や建造物の形がある。

建造物の前に立つと、時代をタイムスリップした感じを覚える。



枚聞神社本殿
開聞十町1366 県指定



揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿
東方733 市指定

開聞岳の麓に鎮座する、薩摩国の一の宮、枚聞(ひらき)神社。神社の縁起は、和銅元年(708)の創建と記されている。開聞岳は「開聞神」にも表記され、篝火は開聞神の崇りと見なされ、枚聞神社がこれを祀っていた。現在の本殿は、慶長15年(1610)に島津義弘が寄進したもの。天明7年(1787)に島津重義が改築した。絶朱漆欄彩色で、特に向拝柱雲電の彫刻柱は製作技術の高さを示している。

揖宿神社は1200年以上も前の古代から崇敬される神社。現在の社殿は、弘化4年(1847)に薩摩藩主の島津齊賀が建造した。花崗岩で造られた鳥居は、嘉永元年(1848)に齊賀の命令で、大隅半島の根占から運ばれた。その時、揖宿神社の神様が「牛をさらう」と考えられたため、車に積んで多くの人々で海岸から神社まで運んだと言われている。

信仰

古来より、人びとは心のよりどころを山や巨石、巨木に求めてきた。

また、信仰心を目で見える石造物として表してきた。自然や宗教に対する信仰心の深さが感じられる。



無足明神
東方尾掛 未指定

尾掛地区には明治時代まで、大崩から流れていた蛇を祀る「無足明神」があった。ここで、蛇を模して足を縮めた舞手が谷から現れる。神木にまといいつく「無足眞」が行われたといい。現在は、「三国名勝園路」に描かれた手水鉢と思われる石造物などが残っている。石造物のうち、両手に欠けをもつ人(神か?)の像は、信仰の対象としてとても珍しく、謎の多いものだ。



天の岩屋供養塔群
開聞仙田6542 市指定

開聞岳の麓にある「岩屋さん」と呼ばれる場所には、室町時代から戸田時代の板碑と五輪塔が残っている。この岩屋は伝説が残っている。塙土翁が、岩屋で法水(身体を清めるための水)を汲んで修行をしていたところ、1頭の牡鹿が来て法水をなめた。すると鹿はちまちまごもり、口から女子の子が生まれた。瑞应姫と名付けられた女子は、後に天智天皇の后になり、大宮苑と呼ばれたといい。洞くつの岩に半月形のが浮き出ているのは、姫が生まれたときに現れたと伝えられる。

山川鏹節焚き納屋及び倉庫群
山川福元 未指定



かつて、山川港は、高知県や静岡県などからのカツオ遠洋漁業の中継基地として使われ、鏹節を作るための前処理が行われていた。その後、山川港出身者による鏹節製造業を営むようになり、石蔵や焚き納屋が建てられた。

現在、福元の津口番所のそばには、大正時代から昭和の初め頃の建造物が残されている。

建物は、赤レンガや山川石を用いて建てられており、建造当時の景観が残されている。

揖宿神社の社叢
東方733 県指定



揖宿神社には、推定樹齢700年以上といわれるクスノキの大樹が8株も群生している。さらにクスノキの周りには、エノキやイチョウなど、高さ20mを超える大木がまとまって生えている。大木にはアコウの木が寄宿し気根を長く垂らしている。

県内でも珍しい社叢である。

揖宿神社前田/神依代掠/木
東方730 市指定



揖宿神社の前にあるムクノキは田の神が宿ると伝えられている珍しい事例である。田の神の石像が作られる前の信鷹のかたちを伝えるものだ。揖宿神社では、昭和28年頃まで、このムクノキの下でお田植え祭りが行われていた。なお、ムクノキの裏側には、大正8年に造られた田の神がある。

鎧地蔵板碑
山川鎧地蔵板 市指定



南北朝時代の元徳4年(1332)に造られたもので、揖宿市内で年号が刻まれている板碑としては最も古い。表面には「地蔵菩薩」を示す梵字が刻まれている。南北朝時代、日本本土は天皇が二人おり、日本各地で南朝と北朝に分かれ争いが起こっていた。この板碑に刻まれた年号(元徳)は、北朝の年号なので、この地が北朝側の勢力圏であったことを物語っている。



刻地蔵

池田池崎 市指定

刻み地蔵は、池田湖の畔にある洞窟に彫られている。伝説によると「清見城の城主池田信濃守(いけだしなののゆき)が知覺の佐多伯耆守親久(さとうこう)の妻ひさに攻められた時、家の息子は城主の夫人や娘を連れ出し逃げた。そして、この洞窟で殿様や家庭の無事を祈り、食事もらず仏像を彫り完成すると同時に幽死した」という。この伝説から刻み地蔵は「願死御前(ひじんがごぜん)」とも呼ばれている。



正龍寺宝珠付角柱石塔婆

山川福光5780 市指定

「石燈籠」とは、供養のために建てられたいわば石の記念碑のこと。この塔婆には、阿弥陀三尊・釈迦三尊・金剛大日如来を意味する梵字が刻まれている。銘文によれば、□源上なる人物が、戦国時代の永禄10年(1567年)、山川に21日間滞在し、多くの人々を集めて念佛説(△仏の救いがあるよう念仏を唱える業会)を行ったことがわかる。この塔婆を建てたために経済的な支援をした人物「池田隼人助夫婦」「辻屋與左衛門允夫婦」の名前も刻まれている



成川十一面観音座像及び石燈

山川成川 市指定

永禄9年(1566年)、尊成川を治めていた譚田政成によって建てられた。石燈は高さ104cm。なかには觀音を彫った石板が納められている。屋根には次のような銘文が記されている。「十一面観音を建立し奉る。建立は譚田但馬守・法名松月宗賀居士・東善坊をして三七日の間にこもらひめ、一月三度ずつ縁に祈る。成就のとき、成川中門に水かかり候なり。永禄9年丙寅三月一日」



宮ヶ浜港防波堤(捍海堤)

西方宮ヶ浜 国登録

宮ヶ浜の海岸にある、三日月形の防波堤(捍海堤:かんかいてい)。指宿小学校に残る石碑「指宿捍海堤記」には、この防波堤建設のいきさつが記されている。

「宮ヶ浜の海は遠浅で、船を安全に泊泊させることなく、台風で船が転覆する恐れがあった。天保4年(1833)、それを知った第10代薩摩藩主島津齊興が内金庫(ポケットマニー)を使い、長さ2300m、高さ5mの防波堤を築かせた。工事は天保4年の12月に始まり翌年の7月には完成した。」

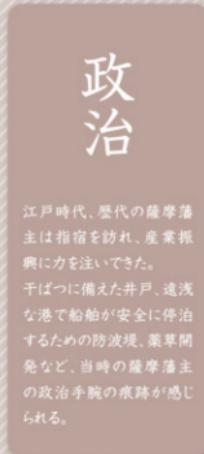


山川菜園跡及びリュウガ

山川新生町35 県指定

江戸時代、島津氏は山川・佐多・吉野の三ヵ所に菜園を設け、薬用植物の栽培に努めた。そのうち最も古いのが、万治2年(1659)に開設された山川菜園である。今も残るリュウガんは、当時栽培されたものといわれ、推定年齢300年以上。「斎彬公史料」には、菜園で作られたレイシやリュウガんの実や蜂蜜酒にして大奥の駕姫のもとに送ったことが記されている。

山川菜園跡のリュウガんの実も、口にしたのかもしれない。



政治



地頭役屋跡石垣

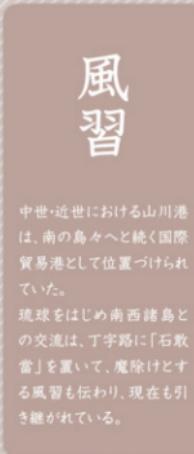
山川新生町84 市指定



島津齊彬公報井碑新旧二基

東方7353 市指定

安政5年(1858)、二月田に灘治に来た島津齊彬は、指宿の大千坂を目の当たりにし、将来に備えて、東郷吉左衛門に97の井戸を掘らせた。翌年、井戸を掘った記念としてこの碑が建立された。その後、碑文が読みづらくなため、息子の東郷平八郎が書いた碑文に添え書きをもとに宮里源之丞が昭和12年に新しく碑を建てた。



石敢當

市内 未指定



丁字路などの突き当たりに設けられた、魔除けの石標。町中を徘徊する魔物が、突き当たりを直進して屋敷内に侵入するのを防ぐ目的をもっている。魔物は石敢當に当たると辟(へき)散(さん)という。そのルーツは古代中国で、護符にも多くみられる。石敢當は、山川港のある福元地区に多くみられ、最新の調査では64基が確認された。

風習

江戸時代、歴代の薩摩藩主は指宿を訪れ、産業振興に力を注いできた。千ばつに備えた井戸、遠浅な港で船舶が安全に停泊するための防波堤、薬草開発など、当時の薩摩藩主の政治手腕の痕跡を感じられる。

山川府倉を取り廻む石碑は、江戸時代のもの。かつてここには、山川郷の政治を司る地頭役屋があった。地頭役屋には、政治金銭を行なう(あつかい)、郷土年寄とも言う)、事務や検察、訴訟などの仕事を担う権限、郷内の武士の指導や反乱の警備を行う組頭の三つの役職が行われた。明治初期に地頭職が廃止されてからは、軍政所、学校、役場と姿を変ええて今に至る。

指宿まるごと博物館
指宿文化遺産図鑑 第1巻
～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～

平成27年3月

編 者 指宿まるごと博物館実行委員会

指宿市考古博物館
時遊館 COCCO はしむれ
〒 891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2290
TEL 0993-23-5100
<http://www.minc.ne.jp/cocco/index.htm>

印刷・製本 潤上印刷株式会社
〒 891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 3-1-6
TEL 099-268-1002
落丁・乱丁はお取り替えします。
許可なく複製、転載することを禁じます。
© 指宿まるごと博物館実行委員会／時遊館 COCCO はしむれ
Printed in Japan



平成26年度文化庁文化芸術振興補助金
(文化適度を活かした地域活性化事業)

